

学校長あいさつ

沖縄県立美咲特別支援学校は、昭和 47 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として設立認可され、3 月には琉球政府立美咲養護学校と校名を変更し、5 月 10 日に開校式を迎えました。当時は、小学部児童 22 名、中学部 14 名、職員 15 名でスタートした小さな学校でした。また、開校の 5 日後に、沖縄県が祖国復帰を果たし、「沖縄県立美咲養護学校」に校名を変更しています。

さて、その後昭和 51 年には高等部設置が認可され、平成 13 年には幼稚部が設置されました。開校から 44 年目の現在では、幼児児童生徒数 325 名、通学区域は 11 市町村にまたがる大規模校となっています。

本校は、校歌の一節にもある『きれいに咲こうよ、咲かそうよ』を教育活動のキャッチフレーズにし、創立当初からの歴代校長をはじめ、本校にかかわってくださった沢山の方々の思いを受け継ぎ、今も子供たち一人一人の個性を大切にし、その子らしい花が咲くよう、本人も周りも心ひとつにして、日々教育実践に励んでいます。また、保護者の授業参観をいつでも受け入れており、毎月の授業参観日には、多くの保護者が学校を訪れ、子供たちを励ましてくれる元気な学校です。

本校は、幼小中高一貫した系統性のある教育の特徴を生かし、「自立し、社会参加できる子の育成」のために、その子にとっての教育的ニーズがなんであるかを見極め、各支援・指導計画の作成とその実践をR-PDCAサイクルに基づき、日々取り組んでいます。その中で特に心がけているのは、子供にとって『分かる授業の展開』です。そのために、学校と家庭と地域のそれぞれの役割分担を互いに認め、支え合い、さらなる連携を深めていけるよう努めております。

本ホームページをご覧なされた皆さまにおかれましては、本校の教育活動をご理解いただき、今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月

沖縄県立美咲特別支援学校

校長 座間味 恵利子